蔵王

題字　大久保伝蔵 氏

JCI Yamagata
公益社団法人
山形青年会議所
〒990-0042
山形市七日町2-1-3 プラザビル七日町3F
TEL（023）632-8665
FAX（023）633-2219
HP：http://www.yamagatajc.or.jp
E-mail：y-jc@macbase.or.jp

No.３１０　２０２３年１１月３０日　●理事長　阿部　則裕　●編集　総務広報委員会

２０２３年 スローガン

【日本青年会議所】 Drive our dreams　日本の魅力で世界を席巻しよう
【東北地区協議会】 LINK
【山形ブロック協議会】 共存共栄 魅力の融合と創造　～笑顔溢れる「やまがた」の実現に向けて～
【山形青年会議所】 Beyond dreams　～踏み出すその一歩が道となる～

ご 挨 拶

公益社団法人山形青年会議所
２０２３年度 第６８代理事長　阿　部　則　裕

平素より、公益社団法人山形青年会議所の運動に対し、深いご理解と温かいご支援を賜っておりますこと、心より御礼を申し上げます。

１年前、２０２２年１１月発行のこの広報誌「蔵王」におきまして、次年度理事長としてご挨拶をさせていただいた頃は、新型コロナウイルスによる影響がようやく収束の兆しを見せ始めた時期で、コロナにより疲弊した地域に活力を取り戻し、より魅力的な「まち」にすべく、ａｆｔｅｒコロナのリーディングケースとなる事業に、積極的に挑戦していきたい旨の決意を述べさせていただきました。本年度スローガン「Ｂｅｙｏｎｄ ｄｒｅａｍｓ　～踏み出すその一歩が道となる～」は、この困難な時代を乗り越え、地域を飛躍へと導くべく、我々青年が率先して、このやまがたに夢を描き、その夢を実現させるべく、夢のその先へ向けて、失敗を恐れずに新たな一歩を踏み出さなければならないという想いを込めて掲げたものでした。

そのような想いから、本年度は、コロナ禍においては自粛傾向にあった公開例会等の対外向け大規模事業や、次世代育成事業、国際交流事業を積極的に実施致しました。

５月には公開例会としまして、前サッポロビール㈱代表取締役社長、㈱東邦銀行社外取締役の髙島英也様より講演をいただきました。同講演では、「先行き不透明な時代の組織運営」をテーマに、困難な時代だからこそ、居心地の良いだけの組織となることなく、あえてコンフリクトを起こしてでも組織の活性化を図ることが重要であると学びました。

８月には、やまがたの夏の風物詩であります第４４回山形大花火大会を開催させていただきました。４年ぶりにコロナによる制限のない花火大会ということで、観客席を大幅に増設して開催しましたが、晴天にも恵まれ、本当に多くの皆様より足を運んでいただき、コロナ明けの新しい時代を祝福し、皆様に笑顔を届ける花火大会となりました。

また、本年は、４年ぶりの開催となりました次世代育成事業や１０月公開例会「樹氷を守ろう」など、やまがたの将来を担う子ども達を対象とした事業に積極的に取り組みました。コロナ禍において様々な機会を制限された子ども達に、未知の体験をすることの喜びや、交流することの喜び、そして、このやまがたに住み暮らすことの喜びを実感していただく機会となれば幸甚です。

さらに、コロナによる制限の明けた本年は、国際交流事業も再開させており、２月にはＪＣＩ台湾四維を訪問して総会及び新春祝賀会に参加し、また、８月にはＪＣＩ香港シティレディのメンバーが来県して山形大花火大会を観覧するなど、海外姉妹ＪＣＩとの交流も積極的に行いました。また、ＡＳＰＡＣジャカルタ大会や世界会議チューリッヒ大会にも多くのメンバーが参加し、国境を越えた交流や国際的な知見を学ぶ機会を得ることができました。

コロナによる制限の明けた初年度にもかかわらず、これだけの事業に取り組めましたのも、地域の皆様や、貴重な人財をご輩出いただいております企業の皆様やご家族の皆様のご理解とご支援、そして、これまでの歴史を紡いでこられた先輩諸氏のご指導ご鞭撻の賜物に他なりません。この場をお借りしまして、改めて御礼を申し上げます。

コロナによる影響が収束しても、社会が続く限り課題は生まれ、その度に私たちは困難に直面することになります。だからこそ、私たち山形青年会議所は、その困難を乗り越える原動力である「夢」を描き、誰もが安心して夢を描ける地域を創造するべく、夢のその先に向けて挑戦を続けます。

結びに、本会に関わる全ての皆様に心よりの感謝を申し上げ、１年間の締めくくりのご挨拶に代えさせていただきます。ありがとうございました。

2023年度 新入会員紹介

2023年度 新入会員会長
大風　滋
勤務先：㈱大風印刷

新入会員代表挨拶

この度、山形青年会議所の一員として迎えて頂き有難うございます。日々本業では経験できない貴重な体験をすることができています。新入会員一同精進してまいりますのでご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

鈴木康志
勤務先：山住設備㈱

佐藤翔太
勤務先：㈱フォーライフ

東海林　亮
勤務先：栄進リース工業㈲

佐藤和哉
勤務先：㈱冷凍技術工業所

荒木康行
勤務先：ホテルメトロポリタン山形

渡辺将太
勤務先：渡辺司法書士事務所

海谷直樹
勤務先：山形総菜・鉄板焼・地酒・やまき

渡邉大輔
勤務先：南原簡易郵便局

加藤　亮
勤務先：山形トヨペット㈱

庄司崇人
勤務先：ＳＴＫ

五十嵐 憲太郎
勤務先：五十嵐法律事務所

木村太亮
勤務先：山形市役所

髙橋友淳
勤務先：㈱山形銀行

阿久津　優
勤務先：山形市議会議員

鈴木裕太
勤務先：石川建設産業㈱

安達竜哉
勤務先：山形放送㈱

横田勝之
勤務先：みらい整骨院

岩井晶幸
勤務先：㈱荘内銀行

第４４回 山形大花火大会御礼

特別委員長御礼

花火大会特別委員会　特別委員長　白田　圭一

８月１４日月曜日に第４４回山形大花火大会を『螢舞え』のテーマのもと開催させていただき、無事に終えることができました。本年は霞城公園を打ち上げ場所とし、東大手門前の県民ふれあい広場と山形駅西のやまぎん県民ホール広場をチケット販売での観覧会場を設えさせていただきました。そして、大口協賛企業様への御礼企画として霞城セントラル屋上庭園広場をお借りしてご招待させていただきました。その他ドローン２００機によるドローンアートを初の試みで企画させていただき、花火はもちろんのことドローンの演出も大変好評いただきました。当日は一日天気に恵まれ最高の状態で観覧者様をお迎えすることができました。今年度大会の成功は大会運営にご協力賜りました行政、地元町内会、市民サポーター、全ての方々のお陰様でございます。山形大花火大会を愛する市民の一人として、多大なる感謝の言葉を述べさせていただき、御礼の挨拶とさせていただきます。

本部長御礼

花火大会特別委員会　本部長　岡崎　彌門

この度は、８月１４日の山形大花火大会へご協力頂き誠に有難うございました。

今年度の山形大花火大会は、新型コロナウイルスの感染症分類が５類に引き下げられ、どのような人流になるか、様々な問題が発生するのか不安がある中で、開催当日まで過ごして参りました。しかし、そんな不安をよそに、当日は、霞城公園での会場を移しての初めて天気に恵まれ、快晴での開催をすることができました。また、滞りなく無事大会を終えられたのも、市民･行政･関係各所、そしてメンバーの協力があったからだと強く感じております。改めて、御礼を申し上げます。今年度は一旦終わりましたが、次年度へ向け反省点や引き継ぎを密に行い、持続可能な大会運営をしていかなければなりませんので、引き続きご協力を賜れれば幸いです。

第４４回 山形大花火大会御礼

総務企画部会

部会長
今野雄貴

本年はステージイベントや有料桟敷席の販売、露店出店などコロナ前の企画を復活させつつ、ドローンショーや霞城セントラル庭園広場の協賛席の設置、山形駅西口イベント広場へのキッチンカーの出店など新しい試みを加えた大会運営を実施いたしました。課題を感じる部分も多々ありましたが、多くの市民の皆様から山形大花火大会を楽しんでいただけたのでないかと思います。

ご協力いただきました全ての皆様に感謝を申し上げると共に、今後とも山形大花火大会実行委員会に対しまして引き続きのご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

渉外部会

部会長
工藤和哉

本年は、昨年に引き続き山形の中心街を元気にしようとの想いで霞城公園での開催となりました。

その中で、協賛企業様への返礼としてプルリに加入している店舗様で使えるクーポン券を準備しました。

また県民ふれあい広場と、やまぎん県民広場観覧席での開催が実現できました。課題はありましたが来年度にしっかりと引継ぎをさせて頂きます。最後になりますが協賛活動をはじめ皆様のご協力誠にありがとうございました。

設営部会

部会長
加藤竜太

今年度は新型コロナウィルス感染症が５類相当に引き下げになり、観覧会場を初めて３か所に増設して開催しました。設営作業も増える中、大きな問題も無く無事に終える事が出来た事は山形大花火大会に今まで携わってきた方々の教えや引き継がれてきたもののおかげだと実感致しました。

皆様からの多大なるご支援とご理解のおかげで、当日は大きな事故も災害もなく無事花火を打ち上げる事ができました。

また花火大会終了後の迅速な撤収作業や誘導など様々なことに多大なるご協力いただき誠にありがとうございました。

警備部会

部会長
鈴木壱幸

本年は、警備エリアが広がったことと、ボランティアの人員不足により、重点箇所を絞って少人数での警備体制となりました。花火大会当日は、警察、消防、奥羽警備様にご尽力いただき、緊急時の連携対応で課題が残ったものの無事に大会を終えることができました。また、今大会で出た課題や問題点をしっかり引き継いでいくことで、警備面を大きく改善できる可能性を感じました。ご協力いただいた関係各所の皆様、誠にありがとうございました。

2023年度 委員会事業報告

花火大会特別委員会

特別委員長　白田圭一

花火の歴史を第１回から紐解く４月例会を開催し、山形大花火大会に対する当事者意識を深めることができました。そして８月第１例会お天気まつりでは４年ぶりの桟敷席を設えた大会への成功祈願をさせていただきました。第２例会は第４４回山形大花火大会を無事開催させていただき、第３例会で清掃作業を通じて地元町内会の協力の大切さを改めて感じることができました。委員会一同、メンバーの皆様の多大なるご協力に感謝しております。

会員拡大委員会

委員長　安藤裕紀

７月１１日（火）に新入会員認証式を執り行った後、公益社団法人日本青年会議所第６８代会頭鎌田長明様をお呼びし、ＪＣの理念について、理解と共感をテーマにした例会を執り行いました。新入会員にとっては初めてとなる例会、また、現役メンバーにとっては改めて自身の活動を考える例会となりました。今回の例会を通じて、盤石な組織作りを強化し、明るい豊かな社会の実現に向けて、メンバー一同学びを得る良い機会となりました。

資質向上委員会

委員長　林　勝俊

資質向上委員会では、９月出向者支援例会を９月１２日（火）にメンバー例会として行いました。今年度、山形青年会議所を代表して出向していただいたメンバーの皆様を労うと共に、出向先での活動報告をしていただきました。出向の知識のない新入会員や出向を経験されていないメンバーに、出向の意欲を持っていただき、次年度への出向活動を前向きに捉え、出向に対してより深く考えていただく例会となりました。

未来創造委員会

委員長　黒金　一

８月５日、６日の二日間で「わくわく蔵王探検隊ｉｎ２０２３」と題しまして、蔵王温泉街を探検する次世代育成事業を開催しました。また、１０月１４日、蔵王のシンボルである樹氷の立ち枯れの問題を多くの方に知ってもらうため、「蔵王の樹氷を守ろう」と題して、１０月公開例会を開催しました。これらの事業を通じて、未来を担う子ども達がやまがたの魅力や課題を知る機会を提供することができました。

会員交流委員会

委員長　鈴木健博

本年は山形ＪＣじゃがいもゴルフコンペとシニア交流会を同日開催とさせて頂きました。ゴルフコンペに７５名、シニア交流会には９７名と大変多くの先輩諸氏、現役メンバーに参加して頂きました。当日はコロナ以前のような交流をすることができ、コロナ禍の中入会したメンバーにとってもいい交流の機会となりました。参加して頂いた先輩諸氏と現役メンバーにはぜひ来年以降もご参加頂ければと思います。末尾になりますが、参加して頂いた全ての皆様に感謝申し上げ、報告に代えさせて頂ければと思います。

総務広報委員会

委員長　松田卓也

５月１４日に５月公開例会として、「先行き不透明な時代の組織運営」と題しまして、前サッポロビール㈱代表取締役社長、東邦銀行社外取締役の髙島英也様よりご講演をいただきました。講演では、組織運営の理論（組織の７Ｓなど）を基にした様々な実例・事象の考察や、書籍・講師ご自身の実体験に基づいた組織運営の難しさ・気づきなどをお話しいただきました。ｗｉｔｈコロナを前提とした企業や団体の舵取り方法や、組織内の一社員として持つべき考え方を学び、今後の組織運営や行動につなげていく機会となりました。

2023年度出向者報告

公益社団法人日本青年会議所

全国大会運営会議
委員
髙橋慶多

今年度全国大会運営会議へ委員として出向させていただきました。その中でも主に表敬訪問・記者会見、エクスカーション、運輸を担当する第４小会議に配属されました。私自身、日本青年会議所に出向するのが初めての経験でとても不安はありました。その中でも多くの新たな仲間と出逢い、共に第７２回全国大会東京大会を無事大きな問題もなく終えることができ、今回日本青年会議所の事業の中でも重要である全国大会の運営に関われた事は私にとって多くの経験と成長を得る機会になりました。今回出向で経験させていただいた経験と知識をＬＯＭに還元してまいります。今回貴重な機会をいただきましたこと阿部理事長をはじめとしますメンバーの皆様に対して心から感謝申し上げご報告とさせていただきます。

公益社団法人日本青年会議所　東北地区協議会

広域組織連携委員会
副委員長
大久保 徳朗

本年度、東北地区協議会　広域組織連携委員会へ副委員長として出向させていただきました。様々な事業を行う中で、サマーコンファレンス２０２３でのブース出展を担当させていただき、各ブロック協議会との連携をはかりながら、事業を推進させていただきました。初めての東北地区出向ということで、県外メンバーとの交流も深めることができ、とても有意義な時間を過ごすことができたと共に、次年度以降ＬＯＭへ還元してまいりたいと思います。

公益社団法人日本青年会議所　東北地区　山形ブロック協議会

山形ブロック協議会
会 長
三浦真守

本年は、山形ブロック協議会会長として出向をさせていただきました。コロナ禍が収束を迎え、従前に近い状態に戻る中、新しい生活様式に気づいた私たちは、この歴史の上に立ち、各地域のためにできることを模索してまいりました。出向を通し、出会った仲間と共に地域の為に運動を展開する意識を共有することができました。本年共に出向いただきました皆様、お支えをいただきました皆様に心から感謝を申し上げ、ご報告とさせていただきます。

１２月クリスマス家族例会のご案内

会員拡大委員会
委員長
安藤裕紀

来る、１２月１０日（日）１６時～１８時、ホテルメトロポリタン山形において開催となります。メンバーのご家族や関係諸団体の皆様へ感謝の意と、次年度への決意を示す本年最後の例会となります。今年度の歩みを振り返る時間やお子様も楽しめるアトラクションも準備しております。
２０２３年度を締めくくるとともに、２０２４年度へ決意を新たに進んでいくために、メンバー並びにそのご家族様、多くのご参加をお待ちしております。

2023年度卒業生のご紹介

卒業生の会会長挨拶

2023 年度卒業生の会 会長
庄司里沙
入会年度：令和元年
勤務先：山形資源㈱

２０２３年度卒業生の会「Ｄｅ５８（でこっぱち）の会」会長を仰せつかりました庄司里沙と申します。
本年の卒業生６名はコロナ禍での活動制限、そして新時代への運動展開と山形青年会議所で多くの学び、気づきを得ました。これからも一人一人がその学びを地域に還元し、シニアクラブの一員として、山形青年会議所へ恩返しができるよう成長を続けて参ります。
これまで支えて下さいました多くの方々にこの場を借りて御礼申し上げます。有難うございました。

工藤和哉
入会年度：平成 29 年
勤務先：㈱桜塗装

石井公康
入会年度：令和２年
勤務先：㈱ミールサービス

稲田卓也
入会年度：令和２年
勤務先：㈱ジョイン
（オワゾブルー山形）

白田圭一
入会年度：平成 25 年
勤務先：山形アルミサッシ工業㈱

浅野弥史
入会年度：平成 25 年
勤務先：山形市議会議員

次年度理事長挨拶

公益社団法人山形青年会議所
２０２４年度　第６９代理事長内定者　髙橋慶多

平素より当会議所の運動にご理解とご協力を賜っておりますこと厚く御礼申し上げます。私は、公益社団法人山形青年会議所２０２４年度第６９代理事長を務めます髙橋慶多と申します。宜しくお願い申し上げます。

２０２４年度は、新型コロナウイルスを乗り越えた先の、また新しい出発点だと感じております。新型コロナウイルスの影響下では、身近な人との接触が妨げられ、たくさんの「出逢い」の機会が失われました。２０２３年には新型コロナウイルスが感染症法上の位置づけが第５類感染症に変更されました。様々な制限が撤廃された今、改めて私たちが住み暮らすやまがたの魅力や問題に真摯に向き合い「まちづくり」や「ひとづくり」に貢献し、時代の変化に応じて変えるべきものと伝統や文化など変えてはいけないものを見極め、多くの「出逢い」の中で地域の皆様と共に志新たに地域活性のために励んでまいります。そして、２０２５年度７０周年へとつなげてまいります。

２０２４年度も変わらぬご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

会員拡大の御礼と PR

会員拡大委員会
委員長
安藤裕紀

本年度も多くの方々より、多大なるご協力をいただきまして、１９名の新入会員を迎え入れることができました。心より感謝申し上げます。有難うございます。

今後も地域社会と向き合い、それぞれが持つ魅力やスキルを十二分に発揮し、課題解決に向けて活動をする必要があります。本年度の新入会員に対し、温かいご指導、ご鞭撻をお願いするとともに、次年度以降も引き続き会員拡大へのご協力を賜れますよう宜しくお願い申し上げます。

編集後記

日頃より山形青年会議所の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

阿部理事長の下､｢Ｂｅｙｏｎｄ　ｄｒｅａｍｓ～踏み出すその一歩が道となる～｣をスローガンに運動を展開して参りました２０２３年度も残すところあと僅かとなりました。この１年間、多大なご支援、ご協力を賜りました関係諸団体の皆様や、敬愛してやまない山形ＪＣシニアクラブの先輩諸兄の皆様、そして、多くの市民の皆様には、重ねて厚く御礼を申し上げます。

本誌掲載の髙橋慶多次年度理事長内定者の挨拶のとおり、山形青年会議所は新型コロナウイルスにも負けず、力強く運動を展開していく所存です。引続き、変わらぬご支援を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

２０２３年１１月３０日発行　発行責任者　阿部　則裕　編集責任者　松田　卓也　編集　総務広報委員会